

AP SEIKO 講座概要

教授伝授シリーズ ～出題者・採点者・合否判定者の視点から教える～

哲学・思想

No.1 功利主義と義務論

—— 医療倫理の2大理論を論証の道具として使う

導入

医療倫理の問題に「正解はない」と思っている受験生が多い。しかし哲学には、倫理的ジレンマを分析する強力な2つの枠組みがある。「最大多数の最大幸福」を目指す功利主義（ベンサム・ミル）と、行為の結果ではなく義務・原則を重視する義務論（カント）だ。この講座では、この2大理論を医療倫理の具体的場面（トリアージ・資源配分・強制治療）に適用し、どんな倫理問題でも論証の枠組みを即座に構築できる技術を習得する。

授業目標

- 功利主義（結果・幸福最大化）と義務論（原則・義務・定言命法）の違いを正確に説明できる
- トリアージ・医療資源配分・強制治療の問題を功利主義 vs 義務論の対立で分析できる
- 「どちらの立場に立つか」を論証の根拠として使い、600字の倫理論述を書ける
- 面接で「倫理的ジレンマにどう向き合うか」を哲学的枠組みを使って答えられる

授業構成（90分）

時間	内容
0～15分	衝撃体験：「トロッコ問題」の医療版で功利主義 vs 義務論の直感的対立を体感
15～40分	功利主義（ベンサム・ミル）と義務論（カント・定言命法）の概説と比較
40～65分	医療場面への適用実習：トリアージ・臓器配分・強制入院を2大理論で分析
65～90分	600字論述実習：「医療資源の配分原則」をどちらの立場で論じるか

課題

授業後：「限られた医療資源をどう配分すべきか」を功利主義と義務論の対立を軸に論述（600字）を作成・提出。

備考

医・薬学部対応。哲学・倫理系の出題が多い大学（東大・京大・慶應・上智）を志望する受験生に特に推奨。論述ブーストシリーズとの併用で効果が高い。